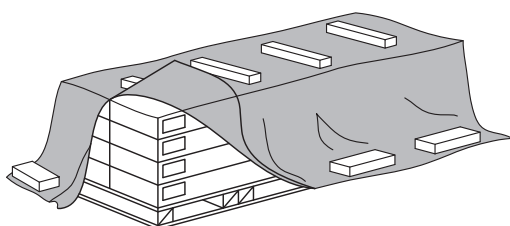


1 センターサイディング標準施工法

1-20 保管・取り扱い・運搬上の注意事項

1) 保管

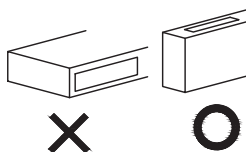
- センターサイディングの保管は原則として室内の水平な場所とし、必ずパレットまたは飼い木の上に置いてください。飼い木の間隔は1m以下としてください。立て掛け保管は危険であり、反りや変形の原因にもなります。
 - 水濡れの可能性のある施工現場などでは、必ず防水用のシートを掛けて保管してください。センターサイディングは地面に直接置かず、水に濡らさないように保管してください。濡れてしまうと、反りや変形、汚れの原因となります。
 - 強風時にセンターサイディングが風で飛ばされないように注意してください。
- ※センターサイディングは屋外で使用されることを前提に、風雨に十分耐えられる設計となっていますが、密閉された高温多湿などの特異条件下では塗膜のふくれや錆びが発生し、早期腐食の原因となります。乾燥した状態で保管し、水濡れしやすい場所や高温多湿の場所に保管しないでください。



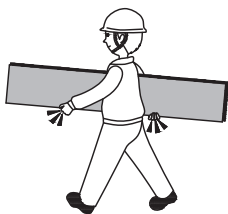
注意 センターサイディングは地面に直接置かず、水に濡らさないように保管してください。

2) 取り扱い

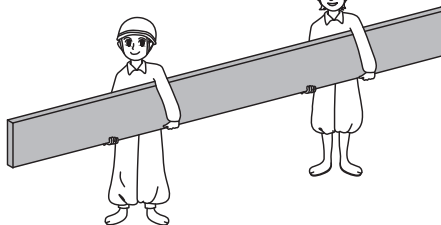
- センターサイディングは折れ曲がらないように丁寧に扱ってください。持ち運びは、1枚時もケース時も小端立てにして静かに運んでください。また、PPバンドを持たないようにしてください。特に4000mmを超えるサイズの場合は2人で小端立てにして運んでください。
- 強風時にセンターサイディングが風で飛ばされないように注意してください。
- 汚れた手で触らないようにしてください。
- 持ち運び時は周囲・足下などに注意してください。



注意 センターサイディングは小端立てて扱ってください。



注意 持ち運びの際に小端立てにしないと、センターサイディングが変形するおそれがあります。



注意 本体が4000mmを超える場合は、2人で小端立てにしないと変形するおそれがあります。

3) 運搬

- 積み下ろしの際にセンターサイディングの角や表面などを損傷しないように注意してください。
- 荷積みは平積みとし、汚れないように注意してください。
- 急ブレーキなどによる損傷を防ぐため、角に当て板などをした上でロープ・ワイヤーなどでしっかりと固定してください。
- 吊り上げる時は、ワイヤー掛けなどでセンターサイディングが損傷しないよう注意してください。



注意 保管・取り扱い方法を間違えると、不具合が発生するおそれがあります。その場合弊社では免責となりますので注意してください。